

第 4 回 国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨(案)

1. 日時・場所：平成 16 年 7 月 5 日(月) 16：00～18：00 国立環境研究所東京事務所

2. 出席者：

(検討会委員)：森田座長、上野委員、高橋委員、田中委員、野口委員、箱崎委員、
花岡委員、平田委員、山里委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員。

(環境省)：企画課長、企画課調査官、環境リスク評価室長ほか

(オブザーバー)：神奈川県、平塚市、寒川町、千葉県、習志野市、船橋市、八千代市、
茨城県、神栖町。

3. 議事概要

(1) 議題 1「平成 16 年度の環境調査計画について」

事務局から環境調査計画について説明した。

住民から要望がある部分については舗装部も物理探査を行うことに関し、技術的に可能なのか委員から質問が出された。どの程度の感度で検知できるかについて、既存の知見を集積した上で、必要に応じて試験的に実施する旨説明し、了承された。

(2) 議題 2「物理探査結果の評価手法確立のための実証実験の実施について」

事務局から物理探査結果の評価手法確立のための実証実験について説明した。

腐食した金属の検討はするのか等の質問が委員から出された。事務局から、今回は基本的知見を集めることが主眼で、腐食の影響等の検討は一段階先のことであると考えている旨説明した。

(3) 議題 3「神栖町における地下水汚染範囲のモニタリング等について」

事務局から神栖町における地下水汚染範囲のモニタリング及び飲用井戸水の安全確保について説明した。

委員から AB トラック北西は内側には井戸があるもの、外側に井戸がないようであるとの問いに対し、事務局から現時点で把握されている地下水汚染の範囲より外側に井戸が選定されている旨説明し了承された。

(4) 議題4「BC事案の対応の進め方について」

BC事案の対応の進め方について事務局より説明した。

追加情報をふまえ、現在の ABCD の事案の分類を近々見直すのかと委員から質問があり、7月時点ではまだ分類を見直すほどの情報が集まっていないので、現時点では分類はそのままとし、BC中でも優先して取り組む必要があるものについて、重点的に対応する旨説明した。

また、水域の事案に関する取り組みについて質問があり、事務局より、情報収集については行っているが、省庁間の役割分担もあり、今後関係省庁で協議していく必要があると説明した。

(5) 議題5「平塚における地下水汚染の現状及び対策について」

平塚における地下水汚染の現状及び対策について事務局より説明した。

今後も地歴調査及び井戸水調査を継続していく旨を説明して了承された。

(6) 議題6「その他」

事務局より、神栖の掘削事業については、7月7日に開札を行って業者が決定する見込みであること、神栖の汚染土壌処理については、7月1日に公募を開始したところであり、今後、本日まで出席の委員の先生のうち一部の先生には、あらためて、その技術評価等をお願いすることになることについて説明した。